



出典：JWPA

洋上風力発電事業について

～ 最新の情報を随時お知らせします～

●問合せ 総合政策課企画政策係（内線 1362）

国から洋上風力発電事業者の選定結果が 公表されました

令和5年12月13日、経済産業省、国土交通省から村上市を含む胎内市沖で洋上風力発電事業を実施する事業者の選定結果が公表されました。

選定された事業者は、公募に参加した4者の中から最も評価点が高い「村上胎内洋上風力コンソーシアム」で、右表の3社から構成されます。

市では、この機会を大切な契機として、今後は選定された事業者と連携しつつ、実り多い地域振興を図っていくこととしています。

構成員	本社
三井物産株式会社	東京都千代田区
RWE Offshore Wind Japan 村上胎内株式会社	東京都千代田区
大阪ガス株式会社	大阪府大阪市

〈事業計画概要〉

発電設備 着床式洋上風力発電

発電設備出力 68.4万kW（38基）

運転開始
予定時期
令和11年6月

洋上風力発電事業者の選定を受けて 市長コメント

かねてより、切望してきた洋上風力発電事業がいよいよ現実の事業化に向けた歩みを進めていくことについて、市民ぐるみで喜びを分かち、胎内市の洋上に風力発電の風車が設置されることに期待を寄せています。

気候変動という大きな環境課題の解消に向けて取り組む地域であることは、シビックプライド*を育んでいくことにつながっていくものと信じます。

※地域や自治体に対する住民の誇りや愛着、そして地域社会に貢献する意識を指す言葉



胎内市長 井畑 明彦

会社概要（村上胎内洋上風力コンソーシアムのホームページより）

三井物産

金属資源、エネルギー、プロジェクト、モビリティ、化学品、鉄鋼製品、食料、流通事業、ウェルネス事業、ICT事業、コーポレートディベロップメントの各分野において、全世界に広がる営業拠点とネットワーク、情報力などを活かし、多種多様な商品販売とそれを支えるロジスティクス、ファイナンス、さらには国際的なプロジェクト案件の構築など、各種事業を多角的に展開する総合商社です。

RWE

RWEは投資および成長戦略「Growing Green」に基づき、エネルギー移行とエネルギーシステムの脱炭素化に大きく貢献しています。RWEは、世界約30か国で約20,000人の従業員を擁する世界最大手の再生エネ事業者の1社で、2024年から2030年の間に洋上・陸上風力発電、太陽光発電、蓄電池、調整電源、水素などの事業に、全世界で550億ユーロを投資予定です。RWEのグリーン発電容量は2030年までに65GWを上回る見込みで、さらに世界中でエネルギー取引を行っていきます。RWEは2030年までに石炭火力発電所の廃止を完了し、2040年にはネット・ゼロ達成を目指しています。

大阪ガス

Daigasグループは、国内エネルギー事業、海外エネルギー事業、ライフ＆ビジネスソリューション（LBS）事業という3つの事業の柱に加え、その分野で培ったノウハウと強みのある資本を活用して、国内外を問わず新たな事業領域の拡大に積極的にもチャレンジしています。持続可能な社会の実現に向け、社会課題の解決に資する価値を生み出す企業グループとして、ステークホルダーとともに“ミライ価値”を創造し、成長し続けていくことを目指します。